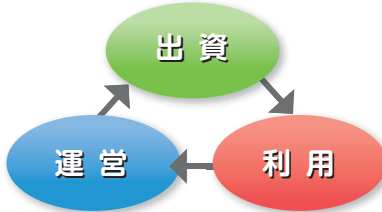


# 登録増資に参加しましょう!



生協は、組合員が出し合った出資金でさまざまな事業を行い、組合員が商品を利用したり、活動に参加することで発展していきます。

「登録増資」とは、申し込んだ金額を注文書の提出と同時に出資金として積み立てていく方法です。

今後も安定した事業運営のために、1人当たりの出資金額 **5万円** を目標に積立増資のご協力をお願い致します。くらしと健康を守り、よりよいくらしづくりと組合員の願いを実現するための出資金をみんなで増やしましょう。お申し込みは、担当、または各センターまで!



## 職場から こんにちは

東部センター  
山田奈央子さん



- 出身地/富山市
- 現在の仕事内容  
配送
- 仕事をしていて「嬉しい瞬間」は?  
配達以外でお会いした時に声をかけてくださった時です。
- 私の心身リフレッシュ方法  
休日の朝から映画観賞をすることです。
- おすすめの生協商品  
商品名「なにわのおつまみギョーザ」

おすすめポイント:タレなしでおいしくいただけます。おつまみにもモチロン!!おかずにも。  
●組合員さんに一言  
寒い季節です。私は今風邪を引いてしまっていますが、みなさん体調に気をつけてください。  
●次に登場して欲しい方を紹介してください  
富山センターの今井健士郎さんを紹介します。

## 明日のくらし、ささえあう CO・OP 共済



11月のご報告

	給付数 (件)	給付額 (万円)
入院	78	555
本人死亡・重度障害	1	30
事故通院	171	349
手術	40	179
家族死亡・親死亡	1	4
住宅災害	9	27
ガン他	3	25
賠償責任	3	36
女性特定	5	19
合計	311	1224

## 知っておきたい!健康と医療 NO.32

今月のテーマ 『子どもがインフルエンザにかかりました。家でどのように対処したらいいのでしょうか?』

インフルエンザの予防接種を受けていても発症することは珍しくはありません。

普通の風邪と違いできるだけ辛い症状を和らげ、早期に回復できるような生活の中で気をつけたいことやホームケアについてまとめました。

### 1、変わった様子がないか観察しましょう

ご家族に気をつけてみていただきたい症状は、発熱、咳、鼻水、頭痛、関節痛、嘔吐、おしっこの色・量などの状態です。

小児、未成年者では、インフルエンザに感染したことにより、急に走り出す、部屋から飛び出そうとする、興奮して歩き回る等の異常行動を起こす恐れがあり、制止しなければ事故に繋がる可能性があります。少なくとも発症から2日間はお子さんを一人にしないよう配慮しましょう。

### 2、生活環境をととのえ、しっかり睡眠をとしましょう。

体力が回復するには十分な睡眠が必要です。熱が下

がり食事が摂れるようになるまでゆったりやすめるようにして下さい。体の抵抗力が下がっていますので、熱が下がっても咳や鼻水などの症状があるときは、外に出ず室内で過ごしましょう。

定期的窓をあけて換気し、濡れたタオルを部屋にかけると空気が乾燥しないように気をつけましょう。

### 3、水分を十分に補給しましょう。

熱が高い時は脱水にならないようにこまめに水分を摂りましょう。水・白湯(さゆ)・うすいお茶・乳幼児用イオン飲料・砂糖湯(湯100mlに砂糖小さじ1杯)などがおすすめです。

食欲がないときは、消化のよい食べやすいものを少しずつ与えてみてください。

東京海上日動メディカルサービス 発行  
～コプ共済連 ホームページ引用～

## 東日本大震災復興支援

### つながろう CO・OP アクション77

～けんせいきょうは被災地の復興を応援しています～

「東日本大震災復興支援募金」にご協力をお願いします!

組合員の皆様からお寄せいただいた募金は、「福島の子ども保養プロジェクト」の実施をはじめとした、県生協が行う復興支援活動の資金として活用させていただきます。

【募金方法】  
マージンシート6ケタの特別注文欄に募金番号と口数をご記入ください。口数「5」は500円、「10」は1000円の募金となります。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

募金受付番号	募金名
375187	東日本大震災 復興支援募金 1口100円(非課税)

■2018年1月1日までの「募金受付累計額」および「拠出した金額とその使途」は下表のとおりです。

東日本大震災 復興支援募金 (2012年9月～)		
受付部	2016年度末までの募金累計	4,147,985円
	2017年4月1日～12月4日までのOCR用紙(注文書)による募金累計人数	533人
	2017年4月1日～12月4日までのOCR用紙(注文書)による募金累計額	32,211円
	2017年4月1日～2018年1月1日現在のイベントなどでの現金募金累計額	58,561円
	受付合計金額①	4,508,081円
拠出部	2016年度末までの拠出合計	1,655,837円
	2017年度4月～11月の拠出合計	561,860円
	2017年度 仮設住宅サロン支援品送付(12月)	5,670円
	2017年度 福島民報社 けんせいきょう祭りパネル御礼	5,000円
	拠出合計金額②	2,228,367円
	お預かりしている募金残高(①-②)	2,279,714円



昨年の学習会では福島のお酒、お菓子、米などを販売しました

「福島のことを知る報告・学習会」を開催します

現在も避難指示区域が残る浪江町の方と、基礎経済科学研究所副理事長の後藤 宣代氏をお招きし、震災当時の避難生活のお話や、被災地の現状についてお話を伺います。

また、昨年8月に実施した「福島視察交流ツアー」と「福島の子ども保養プロジェクト」の参加者からの報告・フルート演奏、福島の物産販売も行います。

震災から7年の「3月11日」を前に、「福島」の言葉に耳を傾けてみませんか?  
詳しくは2月5日(月)からお届けしている案内チラシをご覧ください。

この学習会に関するお問い合わせ、参加申込は、  
TEL 0120-80-4717  
組織ネットワーク部まで



日 時: 2018年3月3日(土)  
10時～12時30分  
会 場: ボルファートとやま  
(富山県富山市奥田新町8-1)  
4階「琥珀の間」

講演: ① 紙芝居「見えない雲の下で」  
浪江町物語つたえ隊  
松田 早百合氏  
② 学習講演  
「3.11フクシマが問いかけるもの  
ー人類史のなかで考えるー」  
基礎経済科学研究所副理事長  
後藤 宣代氏

主 催: 富山県生活協同組合  
生活協同組合CO・OPとやま

参加費: 無料